



2023年2月1日

各 位

会社名 アサヒグループホールディングス株式会社
代表者名 代表取締役社長 兼 CEO 勝木 敦志
(コード番号 2502 東証プライム)
問合せ先 執行役員 コーポレート・コミュニケーション部門長
石坂 修
(TEL. 03-5608-5126)

グリーンボンド発行に関するお知らせ

当社は、国内市場において公募形式によるグリーンボンド(第(未定)回無担保社債)を発行する予定です。本日、当該グリーンボンドの発行に関し、訂正発行登録書を関東財務局長に提出しましたので、お知らせいたします。グリーンボンドとは環境課題の解決に貢献する事業の資金を調達する債券であり、この度の発行は当社として2度目のグリーンボンド発行となります。

当該グリーンボンドの発行により調達する資金は、2026年から操業開始を予定している「アサヒビール鳥栖工場」における設備投資や使用するエネルギーの再生可能エネルギー化の推進、CO₂回収への取り組み、およびグループ全体でのリサイクルPETやバイオマスプラスチックの調達、再生可能エネルギー電力の購入に充当します。

尚、「アサヒビール鳥栖工場」においては、CO₂吸収量が排出量を上回る「カーボンネガティブ」を2026年中に達成することを目指します。

当社は、100年以上にわたり水や農産物など自然の恵みを享受して事業活動を行っています。その大切な自然の恵みを未来世代につなぐため、さまざまな環境課題への取り組みを推進すべく、2019年2月に「アサヒグループ環境ビジョン2050」を策定し、2023年2月に改定を行いました。新「アサヒグループ環境ビジョン2050」では、世界のありたい姿として「プラネットポジティブ」を掲げ、事業による環境負荷をゼロにし、循環を通して地球環境への価値を最大化することを目指します。また、環境への取り組みの柱を1.気候変動、2.容器包装、3.農産物原料、4.水資源に設定した上で、2050年の世界のありたい姿を定義し、それぞれの実現に向けた施策を推進します。この度のグリーンボンドの発行により、事業成長とともに持続可能な社会の実現に向けた取り組みをより一層加速させていきます。

グリーンボンドの概要

発行体	アサヒグループホールディングス株式会社
発行年限	5年(予定)
発行額	未定
発行時期	2023年3月以降(予定)
資金使途	・「アサヒビール鳥栖工場」における設備投資や使用するエネルギーの再生可能エネルギー化の推進、CO ₂ 回収への取り組み ・リサイクル PET の調達、バイオマスプラスチックの調達 ・再生可能エネルギー電力の購入
主幹事証券会社	野村証券株式会社、大和証券株式会社、SMBC 日興証券株式会社、みずほ証券株式会社
グリーンボンド・ストラクチャリング・エージェント※	野村証券株式会社

※ グリーンボンドのフレームワークの策定およびセカンドオピニオン取得の助言等を通じて、グリーンボンドの発行支援を行う者。

その他

当社は、グリーンボンドの発行にあたり、国際資本市場協会(ICMA)による「グリーンボンド原則 2021」および環境省「グリーンボンドガイドライン 2022 年版」に定められている 4 つの要素(1. 調達資金の使途、2. プロジェクトの評価と選定のプロセス、3. 調達資金の管理、4. レポーティング)に関する方針を記載したグリーンボンドフレームワークを策定しました。

上記「グリーンボンド原則 2021」および「グリーンボンドガイドライン 2022 年版」への適合性および透明性の確保ならびに投資家への訴求力向上のため、第三者評価として、株式会社日本格付研究所よりセカンドパーティ・オピニオンを取得しました。

<アサヒグループのサステナビリティについて>

<https://www.asahigroup-holdings.com/sustainability/index.html>

<グリーンボンドフレームワーク>

https://www.asahigroup-holdings.com/csr/environment/pdf/green_bond_framework_2023.pdf

以上